

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 関ブロ大会を終えて

4.5

- 2 トピックス 〈下越地区公民館関係役員等研修会 参加レポート 事務局長 田原 理〉
- 3 視点 「地域に思いを寄せて」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課課長代理・中原 敦子
- 3 ひろば 「写真は面白い」 胎内市公民館運営審議会委員長・高橋 雅男
- 6 実践記録シリーズ 「県子連の活動」 新潟県子ども会連絡協議会
- 7 サークル交流 「会話でつながる三十年」(燕市) / 「古典を次代へ」(津南町)
- 7 素顔拝見 井口由美子さん(南魚沼市) / 佐藤 幸恵さん(長岡市)
- 8 お元気ですか 「定年8年」 湯沢町・半澤 祥治さん
- 8 ネットワーク



「ワラで来年の干支づくり」(弥彦村)

表紙解説

弥彦村ふるさと学校で毎年11月に開催。稲ワラを使って翌年の干支をモチーフにしたワラ細工を作ります。

# 下越地区公民館関係役員等研修会 参加レポート 事務局長 田原理

「下越地区・公民館関係役員等研修会」が平成25年10月3日(木)4日(金)に佐渡市で開催されました。一泊二日で行われた研修会に参加しましたのでその模様をレポートします。

毎年この時期に開催される当研修会は、下越地区社会教育委員連絡協議会(下社連)と合同で運営されています。大会の主管は下越地区公民館連絡協議会(下公連)と下社連が隔年ごとに交互に担当して、今年度は下公連が主管で開催されました。

参加者は、島外から53名、島内34名の87名で下越地区のほぼ全域から集まりました。

〈全体会・佐渡市三大世界遺産の取組紹介〉

1 トキと共生する世界農業遺産(GIAHS)

2 佐渡市農林水産課・生物多様性推進室

3 大地の公園(ジオパーク)

佐渡市教育委員会・社会教育課

金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群

佐渡市世界遺産推進課



\*

〈1日目〉

前日に低気圧が通過した余波があり、新潟港からのフェリーは揺れましたが、両津港に入るころから晴れ間が出て天気は回復。気分の良いスタートとなりました。

全体会・分科会は、両津港から専用バスで20分の「トキのむら元気館」で行われました。

## 〈開会式〉



小林教育長の歓迎挨拶



湯浅会長の挨拶

各担当者が映像、データを使いながら取組紹介に熱弁をふるいました。



## 〈第2分科会〉

他分野と連携した公民館活動について(村上市)

発表者 船山ケイ子さん。写真左。「神林教育事務所」堂々の発表でした。



## 〈第3分科会〉

学びを地域づくりに生かす(阿賀町)

どの分科会も20名以下の構成で協議には最適な人数でした。



## 〈第4分科会〉

下社連分科会

市民の自治能力の向上(阿賀野市)

## 〈第5分科会〉

子ども週末事業のあり方と必要性(聖籠町)

## 夜の部

島外参加者の多くが宿泊した「ホテル大佐渡」では懇親会が盛大に行われました。アトラクションとして

## 〈2日目〉

①金山の採掘所で行われていた「やわらぎ」のパフォーマンス

②大黒さま踊り

の出演で盛り上がりしました。



大黒さま踊り



やわらぎ

快晴の中、佐渡金山の遺跡群見学を行いました。バスの車中では佐渡市の専門職員が詳細な遺跡説明を行いました。その後、トキふれあい施設の見学で全日程が終了しました。2日間の研修は企画・運営も公民館の専門職員らしさが出た大変良い内容でした。

担当で活躍の二人

右…土屋主事

左…駒形主事

(立っている人・閉会式で)



# 視点

## 「地域に思いを寄せて」

新潟県社会福祉協議会  
地域福祉課課長代理 中原 敦子



新潟県の平均寿命は、男性79・5歳、女性87歳となり、第2の人生が着実に伸びています。高齢者を取り巻く環境も大きく変わり、一人ひとりの価値観やニーズも多様化してきました。地域では、孤独や生きづらさ、貧困といった問題も生じ、互いに見守り支えあう重要性をとらえる人も増えていきます。

このような状況の中で、公民館活動は、これからの人生を豊かに生きたい！あるうに生きようかと考えているシニア世代の方々にとって、様々な集いの場となり、同じの場になっていきます。仲間のお茶会から新しくサ

クルを立ち上げたグループや、講座の学びを通して地域の見守りなど、ボランティア活動を始めた方もいるとお聞きしています。長年培った豊富な経験や知識を活かして、一人ひとりの思いを実現し、生きがいや、仲間づくりにつながる重要な場です。そこで深めた活動が、周りへと拡大され、地域の活性化に繋がれば、より一層公民館の存在意義は高まると思われます。

公民館は、人がつながり、地域活動につながる様々なきっかけを提供することにより、地域に暮らす人々を支え、今まで以上に地域にとって大事な拠り所になるものと思います。

# H O T N E W S 掲 示 板

## 全国公民館セミナー参加者募集

全国公民館連合会では、平成25年度全国公民館セミナーを開催します。

このセミナーは、公民館職員の研修として大変内容が充実していて、毎年参加者から好評を得ている研修会です。各研修の指導は、全国的に著名な一流講師が担当します。

- 1 日時 平成26年1月15日(水)～17日(金)
  - 2 会場 国立オリンピック記念青少年センター
  - 3 主な研修プログラム  
(1)シンポジウム  
「これからの公民館の役割と課題」  
(2)ワークショップ  
「公民館の映画をつくろう」  
(3)講座「講座づくりのヒント」
  - 4 参加費 無料
  - 5 参加対象者 市町村公民館職員
  - 6 その他  
(1)旅費の補助があります。参加者全体で3万円。  
(2)申込書類等は市町村中央公民館にあります。
- 問い合わせ  
県公連 TEL/FAX 025-266-7711

# ひろば

「写真の面白さ」

胎内市公民館運営審議会委員長 高橋 雅男

写真の面白さは、撮るまでの楽しみ、撮った後の楽しみと、楽しみが多い。定年後、何かをやりたいと思っても、絵はデッサンから、書は楷書から、モノ作りには器用さがなければならぬ。何事も相当の覚悟が大切である。そんな中で、手軽に入れそうなのが写真の世界である。今やデジタル時代、シャッターを押せば写り、しかも瞬時に映像として直ぐ見る事が出来る。素晴らしい時代である。写真コンテストも市町村、県、全国と数えきれない。しかも力

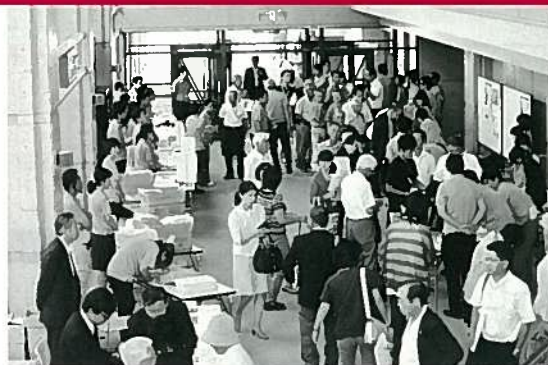


メラや機材は世界一と言ってよい。日本の四季折々の風景に祭りや行事、被写体に事欠かない。街に出れば三才位から百才位までカメラを持ち歩いている。正に日本は写真王国である。写真で家庭が明るくなり、写真が地域の絆を深める。そんな時代なのである。

(高橋 雅男)  
日本写真家協会会員



# 総て



初日、12時ころ  
受付が始まりました

ンスでどうかなという思いもありましたが、会場を160名余りのライトブルーのスタッフがそれぞれきばきと準備をする姿は、とても心強いものがありました。

大多数の役員の皆様には、大会直前にやっと間に合った運営のしおりをお配りしただけで、細かな相談・説明もないなかでの大会運営。いろいろ戸惑った部分もあったかと思いますが、事務局の準備不足を振り払うがごとく的確にそれぞれの部署で運営をいただいた皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。

## オープニングは魚沼らしさで

さて、正午過ぎいよいよ関プロ本番の時間。まずは戦国の昔上杉軍の先陣をつとめた上田衆の陣太鼓「御実城太鼓」と毘瀧剣勇会による上杉謙信公、直江兼続公の歴史上の逸話を題材にした「創作舞踊」で魚沼らしさを出ささせていただきました。続いて、内山副実行委員長の開会ののことは、公民館の歌斉唱に続いて、湯浅実行委員長のあいさつで全体会が始まりました。



会場には、1都10県から900人を超える皆様からご参加をいただき、日程に沿って全体会が進められました。



会場はほぼ満席

なかでも上越市の公民館運営審議会委員・社会教育委員の皆様による朗読劇の出来栄は、素晴らしく皆様相当練習を積んでこられたのではないかと思う出来栄に感心しました。

最後に次期開催地の埼玉県野口会長に大会旗が引き継がれ1日目の全体会が終了いたしました。

翌日の30日は大会2日目。14の分科会が南魚沼市、湯沢町で開催されました。



大会旗 新潟から埼玉へ

## 新潟の食と自然を発信

全体会終了後、講師の雲尾周先生も交えて、各県の役員等による情報交換会が行われました。

県内外の公民館関係者の皆様と歓談をする中で、改めて新潟県は、食と自然に恵まれた地域だと感じました。実行委員会のなかで、当日は各市町村のお酒をお持ちいただくことになっておりました。さすがは新潟県、淡麗辛口の銘酒が会場にずらりと並び県内外の皆様からお喜びをいただくとともに、新潟県の食・自然・温泉などの情報発信ができたものと考えます。

当日残念ながら情報交換会にご欠席の市町村からも銘酒をお届けいただき深く感謝申し上げます次第です。

## 関プロ大会を終えて

関プロ大会も今度新潟県での開催は、11年後となります。その頃にはとうに退職をしておりますが、ボランティアとして、地域や公民館事業にご恩返しができるのいいなと考えるところです。

最後に、今大会の運営にご尽力をいただきました多くの皆様に重ねて御礼を申し上げます。また日頃の業務多忙にもかかわらず愚痴ひとつ言わずに運営に携わった私どもの職員にも感謝を申し上げ結びとさせていただきます。皆様の益々のご活躍を祈念しつつ。

# 特集

## 関ブロ大会を

実行委員会総務部長  
佐藤 和則

8月29日(休)・30日(金)に開催されました関ブロ大会。県内全公民館の皆様と一緒に運営をさせていただき、皆様のパワーと運営能力の高さ、協力体制にさすがは公民館関係者と改めて思うとともに多くの皆様のご協力に感謝を申し上げます。

### 不安な船出

4月に社会教育課長の辞令発令を受け着任しましたが、右も左も解らず日々を過ごす毎日でした。

そんななか「今年は、関東甲信越静公民館研究大会が南魚沼市と湯沢町を会場に開催されます」という話を聞き、しかも1都10県の皆様千人余りをお迎えしての2日間の大会で、分科会が14もあるという内容を聞き大きな不安を覚えました。私以上に県内関係者の皆様には新任課長で大丈夫かとお心配をおかけいたしました。

しかしながら、実行委員会を重ねるなかで、県公民館連合会を核に、全県による協力体制や長岡市、湯沢町との業務分担による組織が出来上がっていたことにより安心して準備を進めることができました。

この体制は、他の部署ではあまり見られない体制であり、県下全体で大会を成功させようという取り組み方は、今後他業務での大会運営においても参考になることと思います。

また、このような大会では、申込み名簿のとりまとめ、宿泊施設の割り振り等が大きな仕事となります。

今回は、観光会社に宿泊と参加申込業務を委託したことにより事務局としての業務は大幅に軽減されました。

その分委託業者を間に挟むことにより、大会紀要等をご担当いただいた長岡市さん、分科会等をご担当いただいた湯沢町さんにはタイムラグが生じご迷惑をおかけいたしました。

### 前日準備の始まり

8月28日の午後から準備が始まり、まずは最終打ち合わせが行われました。

準備万端で臨んだ予定でありましたが、一つ一つを確認していく中で、様々な修正、訂正が行われいよいよ会場準備。

大会スローガンや演台の花が飾られ大会への雰囲気盛り上がってきました。

最後に入口の大会看板を設置し、本番を迎える準備が整いました。



午後4時からは、司会・進行の平井葉子さんを交えて、県大会、関ブロのリハーサルが行われ最終調整が行われました。

その後午後7時から公民館の歌を一緒に歌っていただく地元のコーラスグループ「コーラスひまわり」の皆さんによる練習が何回も何回も行われ、皆さん一日の仕事が終わった後でお疲れのなか熱心なリハーサルが行われました。



開会式 公民館の歌斉唱

このリハーサルを聞きながら明日は、参加者にご満足いただける大会にしたいと思っております。

### さあいよいよ本番当日

8月29日は、早朝より県内各地の役員の皆様からお集まりをいただきました。

午前9時からの役員集合でありましたが、私が7時半に出勤した時には、すでに多くの役員がお出でをいただいております鍵を開けるのが遅くなり申し訳なく思う状況でした。

今回の大会では、役員用にライトブルーのポロシャツを準備させていただきました。私どものセ

# 実践記録

## 188

### シリーズ

## 「県子連の活動」

新潟県子ども会連絡協議会

### 1 新潟県子ども会連絡協議会とは

新潟県子ども会連絡協議会は、昭和51年に発足し、今年で38年になります。この間、時代の要請に応えながら、子どもたちの健全で健やかな成長を願い活動を進めてきました。現在の会員数は約7万人です。

公益社団法人全国子ども会連合会に所属し、全国や関東甲信越静地区の子ども会と連携しながら活動を行っています。

県内での主な活動は、加盟市区町村子ども会への情報提供や活動支援、並びにジュニア・リーダー研修会やKYT指導者講習会等の指導者養成を行っています。

### 2 ジュニア・リーダーの県外研修

ジュニア・リーダーとは、単位子ども会の活動を支援する中学生・高校生のことです。将来の指導者に育ててほしい存在です。



全国子ども会ジュニアリーダー研究集会  
(静岡県:国立中央青少年交友の家にて)

### 3 「子どもの遊びのひろば」

新潟県は、平成16年に大水害や中越地震など度重なる大災害に見舞われました。そのとき、全国各地の子ども会から「被災された子どもたちが元気に遊



お友達と一緒に絵手紙を作ってます。(佐渡)

べますように」との願いをこめた義援金をいただきました。これを基に、始まったのが「子どもの遊びのひろば」です。毎年2会場で遊びの場と機会を提供しています。今年も、新潟市黒崎市民会館と佐渡市佐和田体育館で開催されました。



約200名が参加しました。(佐渡)



母子で参加しました。(新潟・黒崎)

### 4 KYT初級指導者講習会

KYTとは、危険予知トレーニングのことです。子ども会活動の充実を図るためには、活動中の怪我や事故を未然に防ぐための安全教育が重要です。



柏崎市のKYT講習会



県子連主催のKYT講習会

今年も、講師に柴田俊明氏(公益財団法人 伊藤忠記念財団)をお迎えし、上越市頸城区のユートピアくびき希望館で行いました。参加者は20名でした。各市区町村でもKYT研修会を実施しています。

(文責:板垣)

会話でつながる三十年

灯友会

灯友会は電気教室を修了したOB会の集まりで始まりました。大勢の皆さんが色々な部を作りそれぞれ好きな部に三つ四つ入って、毎日のように掛け持ちをしながら楽しんでおりました。

活動を始めて三十年。部員も少なくなりましたが、現在はちぎり絵部・木目込部・書道部・編物部が活動しています。年一回の作品展ではいつもの間に作ったのかと思うような素晴らしい作品がたくさん展示されます。



私たちの活力は、会員同士の見学に来てくださったお客様との楽しい会話です。

今後ともテイタイムで楽しい会話を弾ませながら、来年度の展示会に向けて作品づくりに頑張ります。

燕市・灯友会

笠原 和子 記

古典を次代へ

寿々の会

趣味を同じくする仲間の集りとは少し異なりますが、週二回、文化センターをお借りして稽古をしています。

坂東流の日舞ですが、長唄地唄の古典から民謡・童謡等巾広く勉強しています。正座の生活が少なくなりました。正座、着物を着ることができるよう、畳むことができるようになっても大切な稽古です。

七十才代から八才まで十名ほどの会員ですが皆一所懸命練習しています。伝統の芸を少しでも伝えたく、また邦楽に親しめるようにと考えております。自前の会はむろんのこと、老人会、介護施設への慰問等、地域事業へも積極的に関わりたいと思っています。

津南町・寿々の会

山田 道子 記



誰かが塩せんべい(ば●んこ)を食べている音がする。この館は今日も平和です。

「庶務係ですから」と様々な業務+aを担っている井口さん。中央公民館窓口・貸出業務について聞けば、即答。少年事業では、子どもたちの心を掴み事業を円滑に運営。そして、私たち職員の食料(意外と重要!)の心配まで…。お家だけではなく職場でもお母さん、していただいています。心遣いと優しさで私たちは今日も元気です。

南魚沼市中央公民館

主任 井口由美子さん



素顔拝見

「なんか変じゃない?これ」から始まる彼女の仕事への取り組み。来たなと感じる時である。彼女はこれまで広報担当などを経験してきたが、今年度、課内の係変更により初めて教育支援係に配属となった。

長岡市に合併し支所となった小さな地域は、まだ、旧町の考え方から抜け切れずがあり、少しずつ課題を解決して行かなければならない。新たな難問に取り組む時の第一声である。そして彼女らしいアイデアでこ

長岡市与板公民館

主任 佐藤 幸恵さん



なして行く。

支所地域職員は、いくつもの仕事を担当しており、2足の草鞋ならぬ3足4足を履き替えて業務を行っている。そんな中で、夜や休日の仕事が多い公民館事業は、2児の子どもの母親としては、つらい部分もあるかと思うが、社会教育人間として大きく成長してくれることを期待している。

(長岡市与板公民館 星 博 記)

そんな井口さん、山岳部出身で事業用のリースのつるを山に採りに行っては楽しそう。でも、戻りが遅いので心配になることも。今年は、大好きな国民的アーティストの復活もありアクティブさに磨きがかかるのでしょうか。まだまだ事業もありますし、これからもよろしくお願ひします!

(南魚沼市中央公民館 山崎 麻衣 記)

# お元気ですか

「定年8年」 半澤 祥治 (湯沢町)



定年後8年目となる。退職後はスキーに登山、そしてゴルフを存分に楽しみたいと思っていたが…現実となると悠悠閑閑の生活とは縁遠い日々である。生来、優柔不断なる性格が災いしてか、公民館地区館長への誘いを断れず5年

目を迎えた。地区運動会をはじめ、文化活動での石仏めぐり、まが玉づくり等々、地域の皆様に支えていただき、なんとかその職責を果たしてきたつもりである。身体が動くかぎりスポーツを楽しむ事で健康維持を図りたいと願っていた自分だが、スポーツ活動ならぬ公民館活動を通じ、新たな知識も得ることができた。もはや、入るより出る知識が甚大なるも、ボケ防止の一助となるよう生涯学習に取り組む日々でもある。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後にも元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

## Net work ネットワーク

### 全国公民館研究集会 in ぶらの

第35回全国公民館研究集会が10月17日(木)、18日(金)に北海道富良野市で開催され、全国から858名の参加者がありました。新潟県は県公連事務局1名の参加でした。

前日からの荒天で例年より1ヶ月も早く降雪があり、富良野市内は20cmの積雪。空の便を始め交通が大混乱しましたが、大会は予定どおり開催されました。

大会初日は、開会行事で高橋はるみ北海道知事が歓迎の挨拶を述べました。続いて、富良野在住の脚本家・倉本聰氏の記念講演があり、実話を混ぜた軽妙な話しぶりに大きな拍手が送られました。

大会2日目は分科会で、「スーパー塾」として5分科会に全国の著名な講師を招聘して行われました。それぞれに実践発表があり、コーディネーターが参加者との質疑、意見交換を行った後、講師のまとめの話で終了しました。

全体に、遠隔地のためか参加者数が1000人未満にとどまり、最近の全国大会としてはコンパクトな大会になりました。



いつでも滑走可能？



防寒服。駐車場係の男性。



高橋知事の歓迎挨拶



倉本聰氏の講演

## 純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンな電力を供給しています。また、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会  
会長 (阿賀町長) 神田 敏郎

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

**事** 務局長のつぶやき  
富良野の全国大会に行つてきました。  
出発の日、おもしも台風24号が接近中で、午前中搭乗予定の新千歳行きが欠航。夕方になり1便が飛ぶことになり出発しましたが機内は大揺れ。雲の中に突っ込んだと思つたらドスンと新千歳に着きました。怖かつたです。

富良野行きの電車が雪のため運休があり、乗り継いだ末、乗つた最終の富良野行きは古びた1両編成「ディーゼル」。深夜富良野駅に着いた乗客は私を含めて5人でした。ドラマ「北の国から」を思い出しました。  
今の富良野は、牧場閉鎖ラベンダーはおしまひ。なんにもない寒い富良野から速攻で帰宅しました。(田原)